

…いのち・未 来・かごしま…



おひさま通信



- 連絡先:鹿児島市桜ヶ丘6丁目20-19 TEL.& FAX.099-265-3787 後援会「小川みさ子と仲間たち」会長 相星雅子(作家)
- 後援会事務所:鹿児島市荒田1丁目12-5 TEL.& FAX.099-263-7077 携帯 090-3016-0074
- [Eメール]ogawa-m@oregano.ocn.ne.jp [ホームページ]http://www.ogawamisako.com/



グリーンコープでであった未来を生きる子どもたち

子どもたちの未来は輝いていますか？
お年寄りは毎日、安心して暮らせていますか？
税金は箱ものや一部の人の幸せのためではなく
敬老パス、友愛パス、そして雇用創出、
相談事業、地域商店街の活性化に！！

無所属
小川みさ子



Q 小川みさ子は公約を果たせたか？

A 弱い立場にある市民の声や悩みを毎回議会で個人質問(通算46回)して、市政に反映しています。市政をチェックするには、まずは自らをガラス張りに！と給料の使いみちもHPや「おひさま通信」で全市民に公開。議員だけへのお茶は一滴も飲まず、宝石入り議員パッチも拒否！議員特権NO！の姿勢を買っています。

Q 議員は多すぎますか？

A はい。議員定数を減らすべき！という市民陳情に賛成。議員に使われる税金1人に年約1500万円(議員報酬+日当+政務調査費など)×議員減数分を節税し、福祉に行き届くように頑張ります。(北欧の福祉大国では議員は、各職業、各分野の市民から構成され、給料はなく日当のみです。鹿児島市議会は議会に拘束される日が100日前後ですが、福島県矢祭町のように日当のみのところor三重県のように常勤化に近くなった自治体もあります。議員の仕事が今問われています)

Q 議員とお金、政治とお金になぜこだわるの？

A リストラ、雇用、年金問題で市民の不安が大きい時代だからこそ、市民が身を粉にして働いて納めた税金は大切に市民の暮らしに使われるべきです。議員年金も議員特権です。格差(貧富の差)拡大の時代、議員が率先して節税すべきです。そうでないと市民の痛みは理解できないのではないのでしょうか。

Q 政務調査費は必要ですか？

A こんな暮らしの厳しい時代に見合いません！廃止or減額すべきです。やっと領収書が義務化されましたが、自律性の確立、また、都城市のように情報公開請求なしで閲覧できるように改めるべきです。小川みさ子は、12年間一度も使わず2800万円節税しました。議会事務局には政務調査課の担当職員が七名いて議員の依頼でいつでも調査を引き受けてくれます。更に議員全員がインターネットを駆使して調査すれば、一年間で一億円の政務調査費が節税できるのです。